

みしま



2012
10
October
広報みしま No. 235

ヨ サ コ イ

元気にYOSAKOI

西方の秋祭り

西方地区の秋祭りは9月8日に行われ、稲荷神社に参拝後、子ども御輿の行列が集落を歩きました。途中2カ所で子どもたちと保護者の皆さんが、よさこい踊りを元気に披露し、祭りを盛り上げました。



the most beautiful villages in japan

NPO 法人「日本で最も美しい村」連合フランス発祥の活動を模範として2005年に設立。小さくてもオンリーワンを持つ農山村が加盟し、美しい村のシンボルマークを目印として、将来にわたって美しい日本を残すことを目指す。全国43町村6地域が加盟。代表は北海道美瑛町の浜田哲町長。2010年には「世界で最も美しい村」連合会に加盟した



NPO 法人「日本で最も美しい村」連合資格委員会の杉一浩副委員長と、松尾雅彦委員（同連合副会長）が8月7日・8日、当町の現地審査に訪れ、川井地区の桐が植えられた集落景観や、間方地区の編み組細工の工房などを見て回った。また民俗行事については、「サイノカミ」と「虫送り」のビデオを上映して説明した

三島町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しました。

登録資源

- ① 雪国の手仕事を再生した生活工芸と、日本一の会津桐
- ② 住民の暮らしに根付く民俗行事

町民の皆さんの継承と努力 未来へ向けた大きな一歩

当町はNPO法人「日本で最も美しい村」連合に加盟しました。

特産の会津桐、暮らしに根付く生活工芸や民俗行事を登録資源として加盟を目指してきました。昨年3月に加盟申請しましたが、豪雨災害により審査を受けることができませんでした。申請を取り下げました。今年2月に再申請し、8月に同連合の資格委員による現地審査を受け、理事会で加盟が

内定。10月4日に宮崎県高原町で開かれた臨時総会で正式に承認されました。県内では平成22年に加盟した飯館村、北塩原村に続き3例目となります。

NPO法人「日本で最も美しい村」連合は、北海道美瑛

町が呼び掛け、平成17年に7町村が集まり設立しました。人口1万人以下を原則に、「人々の生活の営みによって作り出されてきた景観、環境、文化」といえる地域資源が二つ以上あることが加盟の条件です。またその地域資源を維持し、活用していく取り組みがなくてはなりません。加盟後も再審査があります。

当町を含め今回新たに4町村1地域の加盟が認められ、加盟数は43町村6地域となりました。

当町を審査した同連合資格委員会の杉一浩副委員長は「連合のコンセプトに照らして評価できる点が多く、芯の通った町という印象を受けました。編み組細工はオンリーワンといえます。また地域の人々が受け継いできた民俗行事もほかにはないものです」

同じく当町を審査した同連合の松尾雅彦副会長（カルビー(株)相談役・元社長）は、ポテトチップスなどのヒット商品を作り上げた経験から、「2020年、2030年のゴールを描いていただきたい。ビジネスの経験から、できることしかやらないマネージャーは成功しません。目の前の問題だけでなく、町をどうのようになりたいのかというアプローチに期待します」とアドバイスしました。

子どもの医療費全額助成が 18歳以下に拡大されました。

10月1日から 県内全市町村で

18歳以下

医療費無料



新

18歳まで無料

※すでにお届けしました。

旧

15歳まで無料

子どもの医療費受給資格証	
記号	三島 番号
氏名	男・女
住所	
氏名	男・女
生年月日	年 月 日
住所	
有効期間	平成 24 年 10 月 1 日から 平成 年 月 日まで
発行機関名 及び印	福島県大沼郡三島町 町長 二瓶 隆 司
交付年月日	平成 24 年 10 月 1 日

子育て支援医療費受給資格証	
記号	三島 番号
氏名	男・女
住所	
氏名	男・女
生年月日	年 月 日
住所	
有効期間	年 月 日から 年 月 日まで
発行機関名 及び印	福島県大沼郡三島町 町長
交付年月日	年 月 日

小学1年生から18歳までのお子さまのいる保護者の皆さんにお届けしました。
②国民健康保険の方は、この資格証は必要ありませんのでお届けしていません。いつもの保険証で助成が受けられます。

当町のこれまでの子育て支援医療費助成（15歳以下）は、10月1日から「子どもの医療費助成」に変わり、対象年齢が18歳以下（18歳に達する年度の3月末日）まで拡大されました。町内に住所のある方が対象で、健康保険適用時の自己負担分（診療費や入院時食事療養費等）が全額助成されます。健康保険が適用されないもの（予防接種・薬の容器代等）は助成対象とはなりません。

この医療費無料化は、東京電力福島第一原発事故を受け、福島県が独自に県内全市町村に対して補助するものです。県内すべての18歳以下の子ども、約36万人の医療費が無料となりました。

町では、小学1年生から18歳のお子さまの保護者の方に「子どもの医療費助成受給資格証」をお届けしました。10月以降、医療機関で受診する際にご提示ください。

なお国民健康保険の方は、国民健康保険証を提示することにより助成が受けられますので、「子どもの医療費助成受給資格証」の交付はありません。

役場 町民課 ☎(48) 5565

三島町空き家・住宅改修費等助成金

空き家解体も助成

町では、定住・二地域居住の推進や、集落の維持・活性化、景観の保全等を図るため、空き家・住宅の改修費または空き家の解体費を助成します。

空き家の活用または解体
3分の2以内の額を助成
(上限100万円)

新たな世帯員の増の場合
一般住宅の改修も助成

- 助成の対象は次のいずれかに該当するものとします。
- 1 定住・二地域居住または地域活動等の促進などが見込まれる空き家の改修
 - 2 利活用の見込みのない空き家や、倒壊等の恐れのある空き家の解体
 - 3 新たに世帯員の増を伴って5年以上定住するための住宅の改修

助成の対象

※空き家とは、日常的に居住していない家屋であり、所有者等が日常的には居住せず定期的に利用している場合も含みます。(蔵、小屋などは含みません)

※改修とは、住宅機能の向上のための改築、増築、修繕、設備の改善等とします。ただし通常の家屋の維持管理に係る修繕等は含みません。

【その他の条件】

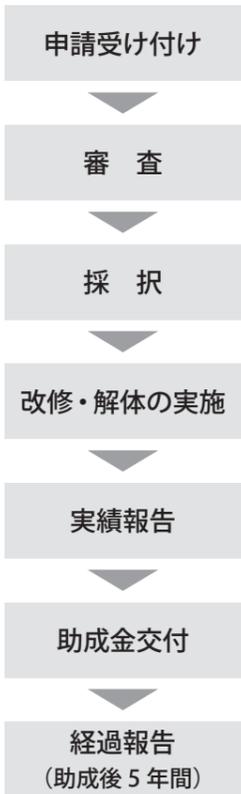
- ① 原則として町内の業者等により改修または解体を行うこと。
- ② 町税、使用料等の滞納がないこと。
- ③ 空き家であった家屋に現に居住している場合は、その居住期間が1年以内であり、今後も定住が見込まれること。

申請先	助成の額	助成対象経費
役場 地域政策課 美しい村づくり班 ☎(48) 5533 (申請様式は同班で配布します)	助成対象経費の3分の2以内の額 ※ただし100万円を上限とします。	空き家・住宅の改修または空き家の解体に係る次の経費 ① 工事請負費 ② 調査設計費 ③ その他、町長が必要と認める経費

※この助成は三島町まちづくり基金を財源として実施するものです。

助成採択の流れ

※改修については、改修後の活用や定住増の見込みなどが条件となりますので、まず事前にご相談ください。



町内の空き家

(町職員による概要調査結果)

地区	軒数
宮下	23
荒屋敷	4
桑原	3
大登	7
川井	6
桧原	6
滝谷	4
大谷	8
浅岐	6
間方	4
西方	18
大石田	7
名入	5
小山	3
高清水	0
滝原	2
早戸	6
計	112



空き家に関する情報提供をお願いします。

役場 地域政策課 ☎ 0241 (48) 5533

町では増加している空き家の問題について、定住・二地域居住などの対策と併せて検討しております。空き家は年々増加し、現在では町内の家屋数の1割を超えています。空き家が増え、倒壊などの危険も増し、集落景観も悪化していきまます。そのような問題が大きくなる前に、何とか解消していきたいと考えています。

一方で町外から空き家に移住している例もあります。活用できる空き家はできるだけ活用していただき、人口の増加、地域活性化を図りたいと考えています。

この助成制度により、少しでも空き家の活用や解体につなげたいと思っておりますので、お考えのある方はまずご相談ください。

空き家情報の提供をお願いします

空き家の解消のためには、まず所有者の意向確認が必要です。しかし、遠く離れていたり、ご高齢の場合も多く、確認が難しい状況です。

町民の皆さんの中で、近所や親類の方など、空き家所有者の方の意向が分かった場合は役場へお知らせください。もちろん所有者の方の了解が得られる場合に限りまます。ご協力をお願いします。

空き家所有者の方に確認させていただきたいこと

- 1 今後、空き家をどうされる意向か。
(解体・賃貸・売却・自分で使用 など)
- 2 賃貸や売却などの意向がある場合について、空き家物件として情報を公開させていただいてもよいか。
- 3 その他、具体的な交渉となった場合の対応などについて

平成23年度 決算

当町は健全財政を維持しています。

町の一般会計と7つの特別会計の平成23年度決算が、町議会9月定例会で承認されました。一般会計は前年度と比べて、歳入は12.1%増、歳出は10.1%増となりました。大きく増加した理由は、情報通信基盤整備事業など投資的事業費の増、また県震災復興支援交付金による基金積立金の増などです。実質的な赤字はなく、町の「借金」の状況を表す実質公債費比率、将来負担比率はともに健全な範囲内です。



決算が承認された町議会9月定例会

平成23年度 会計別決算額		
会計種別	歳出決算額	実質収支
一般会計	24億3,778万円	+1億7,795万円
国民健康保険	2億3,410万円	+3,613万円
簡易水道	9,342万円	+700万円
路線バス	2,025万円	+38万円
農業集落排水	2,811万円	+188万円
介護保険	3億8,676万円	+1,093万円
戸別合併処理浄化槽	3,433万円	+418万円
後期高齢者医療	2,855万円	+1万円
合計	32億6,330万円	+2億3,846万円

自治体の財政破たんを未然に防ぎ、悪化した自治体に対して早期に健全化を促すために、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」があります。

この法律に基づき、「健全化判断比率」と「資金不足比率」の公表が義務付けられています。当町はすべての値が早期健全化基準を下回っており、健全財政を維持しています。しかし自主財源に乏しく国に頼る財政基盤であるため、今後も慎重に財政運営を進めていきます。

健全化判断比率

判断指標	平成23年度	平成22年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	20.0%	40.0%
実質公債費比率	11.2%	13.0%	25.0%	35.0%
将来負担比率	—(※)	1.8%	350.0%	—

(※) 平成23年度の将来負担比率は算定されないため「—」となります。

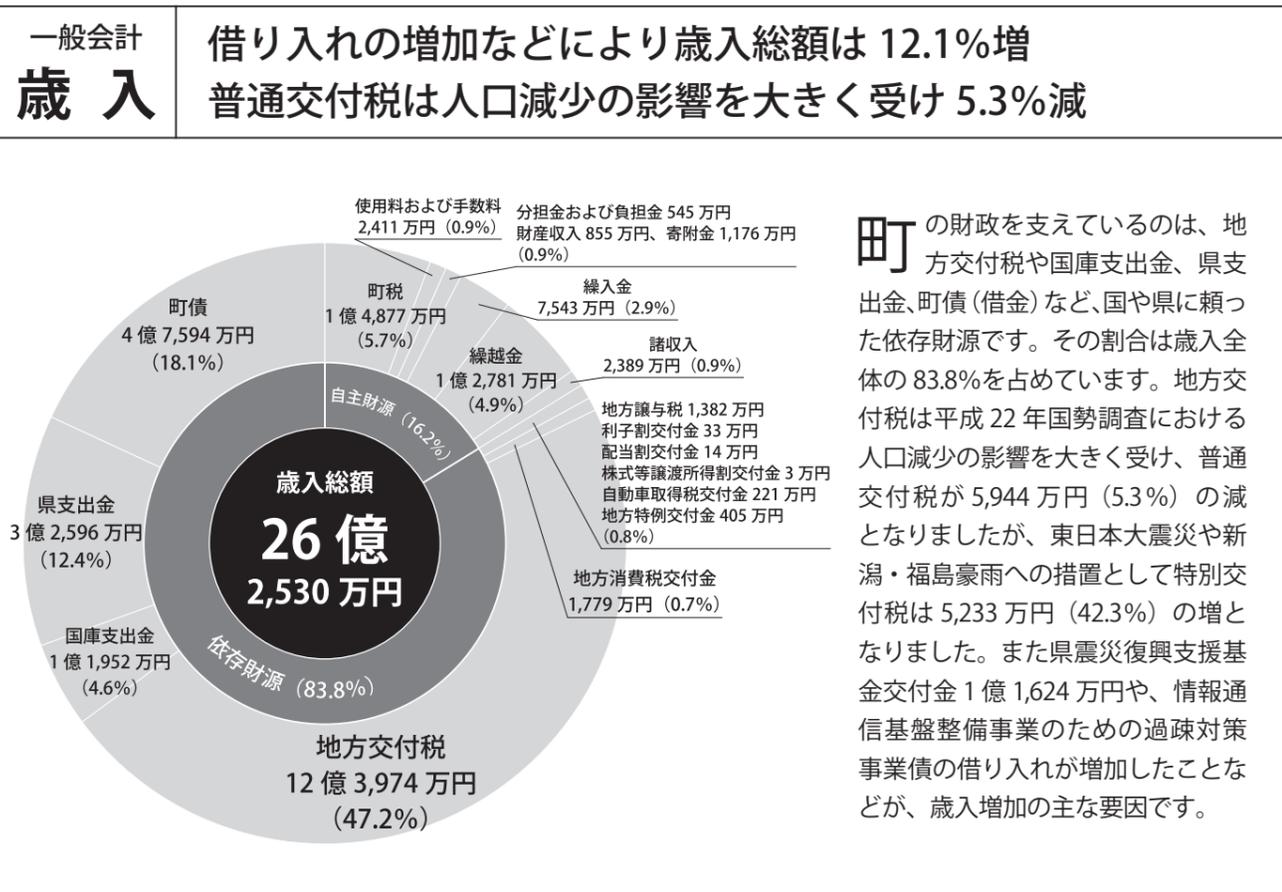
資金不足比率

対象となる事業	平成23年度	平成22年度	経営健全化基準
簡易水道事業	不足なし	不足なし	20.0%
農業集落排水事業	不足なし	不足なし	
戸別合併処理浄化槽事業	不足なし	不足なし	

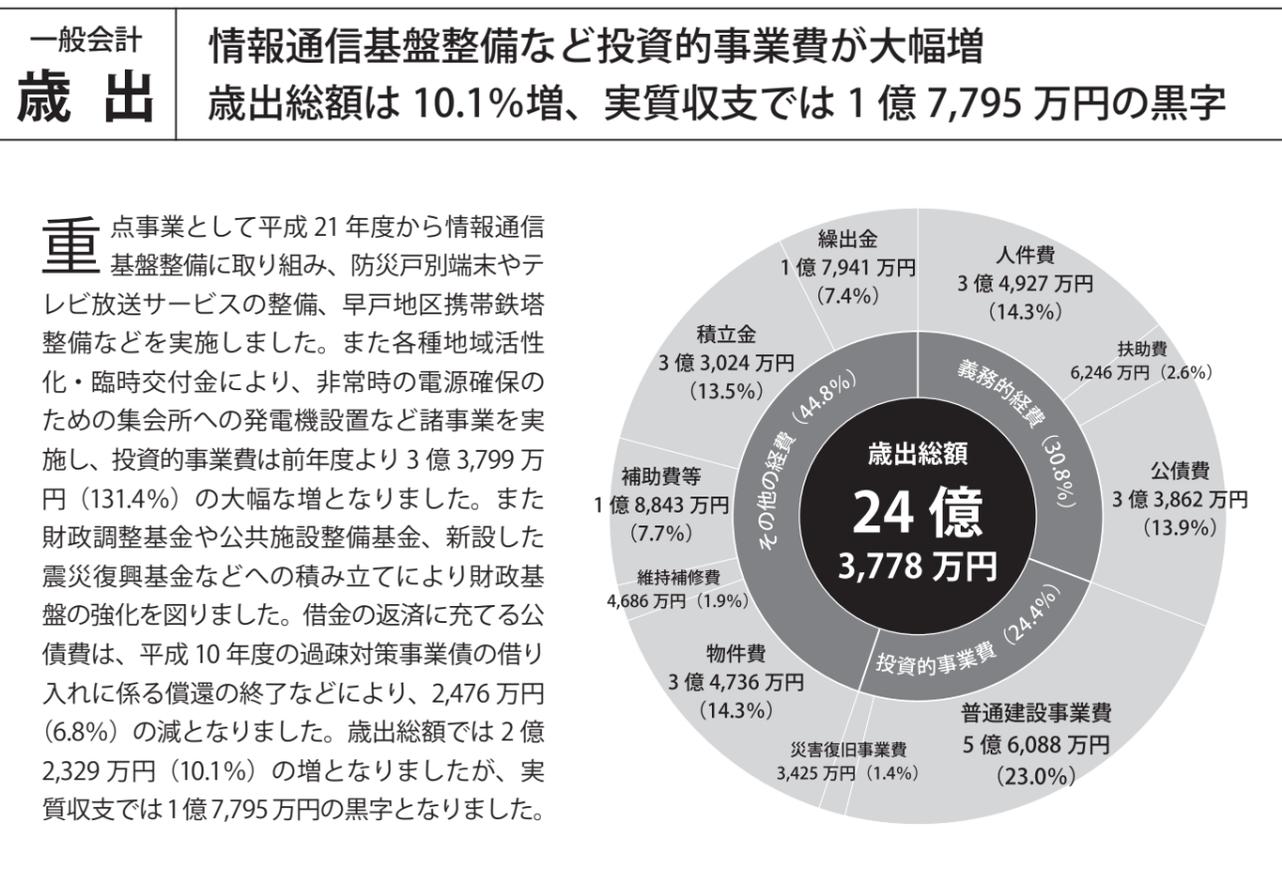
安定した財政運営を維持するとともに、万が一の緊急事態に対応するため、町では基金の維持に努めています。基金には財政調整基金などの積立基金と、各種貸付基金からなる定額運用基金があります。平成23年度は財政調整基金に8426万円を積み増したほか、新たに震災復興基金1億1624万円を積み立てました。今後も財政のバランスを考えながら、基金の維持と活用を図っていきます。

基金種別	平成23年度末残高	増減
積立基金	12億5,263万円	+2億8,289万円
財政調整基金	6億7,541万円	+8,426万円
その他の各種特定目的基金	5億7,722万円	+1億9,863万円
定額運用基金	1億1,415万円	±0円
うち貸付額	8,133万円	-506万円
うち現金	3,282万円	+506万円

多額の費用を要しても町民のためには重要と判断された事業は、国や県の補助金のほか、返済額の70%が地方交付税で措置される過疎対策事業債などの地方債、いわゆる「借金」をして実施しています。平成23年度末の地方債残高は28億2498万円(うち一般会計分19億51万円)となっておりますが、これは健全化判断比率が表す通り健全な範囲内です。今後も重要事業は計画的な借入れにより実施していきます。



町の財政を支えているのは、地方交付税や国庫支出金、県支出金、町債(借金)など、国や県に頼った依存財源です。その割合は歳入全体の83.8%を占めています。地方交付税は平成22年国勢調査における人口減少の影響を大きく受け、普通交付税が5,944万円(5.3%)の減となりましたが、東日本大震災や新潟・福島豪雨への措置として特別交付税は5,233万円(42.3%)の増となりました。また県震災復興支援基金交付金1億1,624万円や、情報通信基盤整備事業のための過疎対策事業債の借り入れが増加したことなどが、歳入増加の主な要因です。





1 日本の伝統音楽 和楽器の魅力にふれる

一流の演奏家グループ「玉手箱」が三島中に来校



三島中3年生が演奏家グループ「玉手箱」と共演し、箏と三味線で「さくら」を合奏した。「玉手箱」の演奏者は、清野さおりさん（箏、三味線）、清野樹盟さん（尺八）、長須与佳さん（琵琶）、大歳久美子さん（箏、三味線）、清野香菜子さん（箏、三味線）。合奏や独奏、弾き語りなど、和楽器の奥ゆかしい調べが会場に響いた

箏や尺八、琵琶、三味線などの和楽器の体験ワークショップとコンサートは9月7日、三島中で行われ、生徒たちが日本に古くから伝わる音楽の魅力にふれました。文化庁の文化芸術体験事業により実施されたものです。

ワークショップでは、演奏家グループ「玉手箱」の皆さんが和楽器について解説し、箏と三味線の弾き方を生徒たちに指導しました。続いてコンサートでは一流の演奏を披露。また最後に3年生が共演し、箏と三味線で「さくら」を合奏しました。「玉手箱」の長須与佳さんは「こんなに上手に演奏できた中学生は初めてです」と話しました。

和楽器は奈良時代のころに中国から伝来し、日本で独自に発達したものです。箏は桐で作られており、「玉手箱」の清野さおりさんは「会津の桐が最高級材料です」と話しました。



箏の演奏を聴いた鑑賞教室

2 三島小でも箏を鑑賞 祖父母の皆さんも一緒に

三島小の鑑賞教室は9月13日に行われ、箏の演奏を聞きました。塩谷洋治さん（会津若松市）と五十嵐あつ子さん（会津坂下町）が来校し、「故郷」「紅葉」のほか「星に願いを」「ミッキーマウスマーチ」などのディズニー曲を箏で演奏。この日は祖父母参観もあり、祖父母や保護者の皆さん約50人も児童たちと一緒に鑑賞しました。塩谷さんが「箏は何の木でできているか知っていますか」と尋ねると、児童たちは一斉に「桐」と答えました。

3 探検、発見、町のこと

三島小3年生の地区探検

三島小3年生の地区探検は9月7日、桑原地区で行われました。長谷川一雄区長の説明を聞きながら、児童11人がさまざまな発見をしながら歩きました。古道にある石の道しるべを発見すると、児童たちは身を乗り出し、何と書いてあるのか調べていました。また集落にある水場の水源を探して、急な坂の上にあるブナ林まで登りました。この地区探検はこれまで西方、名入、大石田、滝原、早戸、高清水でも行いました。



桑原の古道分岐点にある石の道しるべを見つけた児童たち



ひよつこの登場に沸いた桐寿苑の長寿を祝う会

4 笑顔でホールに集う 桐寿苑で長寿を祝う会

桐寿苑の長寿を祝う会は9月19日に行われ、入所者の皆さんが施設内のホールに集いました。95歳を迎えた4人、90歳を迎えた4人に祝金を手渡され、米寿を迎えた3人が表彰されました。入所者を代表して、米寿の五十嵐弥助さんがお礼の言葉を述べました。その後、三島太神楽保存会による長獅子やひよつこ、三島保育所の子どもたちのお遊戯、職員によるヨサコイ踊りが披露され、祝う会を盛り上げました。

5 山からいただく恵みに感謝 町生活工芸運動友の会 山の神感謝祭

町生活工芸友の会の山の神感謝祭は9月10日、生活工芸館前のナラ林で行われ、役員や会員の皆さん12人が参列しました。青木基重宮司がお払いを行い、馬場修子会長、二瓶讓副会長、伝統工芸士の五十嵐光榮さん、二瓶新永さん、生活工芸館の二瓶大樹主査が玉ぐしをささげました。この感謝祭は、生活工芸に使う野山の材料に恵まれることに感謝して毎年行われています。同会では「山からいただく」という精神を大切に活動しています。



生活工芸館前のナラ林で行われた山の神感謝祭



空き家の解消や住宅整備などについて話し合った懇談会

6 空き家対策などを考える 町出身者や移住者を交えて懇談

第2回定住・二地域居住推進、空き家活用等に関する懇談会は9月21日、会津稽古堂（会津若松市）の和室で行われました。会津若松市などに住む当町出身者や、三島町に移住した方々など9人が出席し、当町の空き家増加の問題や、住宅環境の問題などについて話し合いました。当町では全体の1割を超える空き家の解消や、住宅・宅地などの整備が課題となっています。懇談会での意見も踏まえ、今後の施策について検討しています。

7 防災広報車を購入

緊急時の町内巡回広報に対応

町では新たに防災広報車として緊急車両を購入しました。災害発生時など緊急の場合の町内巡回広報などに役立ちます。防災面の町の施策としては、平成21年度から情報通信基盤整備を進め、全戸に防災戸別端末を設置し、聞き取りやすい放送と文字によるお知らせが可能となりました。これと併せて、防災広報車で各地区巡回により、緊急時の迅速な広報を行い、町民の皆さんの安全確保に努めます。



新たに購入した防災広報車

ズームイン3

町民記者の
地元密着通信



1 那須の旅で親睦深める

文・写真 町民記者 角田伊一さん (川井)



道の駅「那須高原友愛の森」を訪れた間方と川井の皆さん

間方いきいきクラブと川井友愛サロンは9月11日、那須高原を訪ねる社会見学を合同で実施しました。両地区から21人が参加し、那須へと向かうバスの中では和気あいあいと親睦を深めました。到着後、お菓子の城「那須ハートランド」で食事会を楽しみ、道の駅「那須高原友愛の森」などで見聞を深めました。

帰りは那須高原から甲子温泉に通じる有料道路を利用して周辺の景観を楽しみ、甲子温泉からは国道289号「甲子道路」経由で会津に入り、三島へと帰ってきました。参加した皆さんは、とても充実した旅の一日を過ごしました。

2 学生たちが手積みの石垣造り

文・写真 町民記者 五十嵐信一さん (早戸)



早戸の只見川沿岸に、手作業で石垣を造る学生たち

東北芸術工科大学の学生による作業実習は9月18日から9月22日まで、早戸温泉つるの湯に隣接する遊歩道で行われました。廣瀬俊介准教授をはじめ教員3人、学生16人が参加。早戸地区で行われるのは今回が3回目です。同地区が整備してきた遊歩道は、昨年の豪雨災害で大きな被害を受けました。学生たちは時折強い雨の降る中、朝早くから夕方暗くなるまで連日の作業に当たり、主に只見川沿岸の石垣造りを行いました。22日には実習報告会があり、早戸地区の皆さんも参加しました。また18日と21日には交流会が催され、学生たちとの楽しいひと時を過ごしました。

3 高齢者の方々を招待し、楽しい昼食会

文・写真 町民記者 坂内洋二さん (西方)



踊りを見て楽しみながらお弁当を食べた昼食会

8月27日、ボランティアいわくら(二瓶辰雄会長)による「昼食会」が西方ふるさとセンターで開かれました。招待された高齢者36人は、久しぶりの再会を喜びながら会員手作りの弁当を堪能しました。食後には踊りを見たり、声を合わせて歌ったり、談笑したりして楽しいひと時を過ごしました。

なお、ボランティアいわくらは、今回の昼食会のほかに年3回の配食サービス、遠足(今年は鳥追い観音、大山祇神社)を実施し、西方地区の高齢者福祉に貢献しています。



福島民報社の「しあわせ金婚夫婦表彰」が行われ、今年結婚50年を迎えた金婚夫婦5組を表彰。代表して馬場英三さん・修子さん夫妻(松原)に、会津坂下支局の平田団支局長から表彰状が手渡された

連れ添って50年 円熟の金婚5組

三島町敬老会

三島町敬老会は9月5日、森の校舎カタクリ体育館で開かれました。町内の満75歳以上の方々610人を招待し、そのうち259人の皆さんが地区ごとに連れ添って来場しました。

結婚50年の金婚夫婦5組が福島民報社から表彰され、代表して馬場英三さん・修子さん夫妻(松原)に、会津坂下支局の平田団支局長から表彰状が手渡されました。自身も金婚を迎えた二瓶隆司町長は「後に続く若者のためにも、いつまでも元気に活躍してください」とあいさつしました。また88歳の米寿を迎えた23人、99歳の白寿を迎えた大竹ミツさん(滝谷)が表彰されました。

町老人クラブ連合会の五十嵐敏会長が謝辞を述べ、「高齢化の進む中にもあっても、血の通った町づくりのため、厳しい時代を乗り越えてきた皆さんの知恵と力を貸していただきたいと思います」と話しました。

その後、演芸会に移り、招待された皆さんはお弁当を食べながら楽しいひと時を過ごしました。

平成24年9月15日現在、町の最高齢は中村キミノさん(宮下)と小柴キンさん(高清水)の女性2人で、ともに102歳。男性の最高齢は二瓶富雄さん(大谷)97歳。また住民基本台帳による65歳以上の高齢化率は、47・31%となっています。

結婚50年を迎えた金婚夫婦

夫 氏 名	妻 氏 名	地区
二瓶 隆司さん	幸 子さん	川 井
馬場 英三さん	修 子さん	松 原
目黒 正廣さん	貞 子さん	滝 谷
秦 昭夫さん	チエ子さん	大石田
渡部 肇さん	フク子さん	大石田

平成24年8月20日現在



後ろから登場して会場を沸かせたひよっこ(三島大神楽保存会の小柴謙さん)



来場者のそばに寄り添い、笑顔で歌った風の会の栗城清子さん

飛び入り参加もOK
楽しくピンポン
誰でもどうぞ。



和気あいあいと卓球を楽しむ皆さん

本当に気軽に雰囲気
の和やかな卓球クラ
ブ。集まった仲間でお
しゃべりしながら、下
手でも、ラリーが続か
なくても、空振りして
も、和気あいあいと楽
しんでいます。飛び入
り参加もできるとい
うことです。
基本的に水曜日の夜
7時から、町民セン
ター大ホールで行っ
ています。明かりが
ついていたら気軽にのぞ
いてみてください。

民話

第19話
白スズメ

ただべえ」
次の日から朝早く起きて白スズメ探
した。何日も探したが一羽もめっか
んねえ。

「本当に白スズメなんどいんのが」
思案して早起きしてだ。したらば
ある朝、裏から下男が米俵かついで
出ていった。「はて？」と見てたら水
車小屋で米ついで酒屋の酒代払いさ
いった。次の朝、今度は牛小屋から
乳しぼって桶たんがいて出てきた。
「ほお？」と見てたら、その乳で呉服
屋から着物買ってきただ。

「いやいや奉公人がこうだ悪いごと
してだのに、気づかねえでいた俺がだ
めだったなあ」
そう思って、かかあに言った。
「朝寝坊ほど損なことはねえ。俺た
ちが寝てる間に奉公人がこうだごと
してた。財産減るのは当たり前だ」
悟った男は朝早く起きて仕事するよ
うになったが、財産も戻ってきた。
そうこうしてるうちに半年たち、あの
友達が訪ねてきた。

「おおい、白スズメ見つけたが」
「ああ、ああ見つけたも。お前
のおかげで白スズメ見つけることでき
たよ。ありがたうな。ありがたう」
ちゅって、手取り合って喜んだ。
ざっとむかし、栄え申した。

掲載協力者 故五十嵐ミヨノさん(西方)

第25回 若桐祭 県立川口高校

テーマ「掌～未来はボクらの手の中に～」

美しい山々、穏やかに流れる只見川、そしてきれいな空気、おいしい水。忘れてはならない日本の風景が、ここ奥会津金山町にはあふれています。川口高校はそんな豊かな自然環境と、おらかな風土に囲まれた学校です。ぜひ一度この機会に足をお運びください。

◆一般公開

10月20日(土) 12:00～14:50

10月21日(日) 10:00～14:50

◆主な内容

- ①クラス企画 食堂・お化け屋敷・縁日・喫茶店など
- ②全体企画 バザー・教育活動展示・茶道・華道など

若桐祭ステージライブ

10月21日(日) 10:00～14:50 ※変更する場合があります。

会場/県立川口高校 格技場 【観覧無料】

《出演》
学生バンド(予定)
ave
太陽族
母心(みちのくボンガーズ)



母心(みちのくボンガーズ)

テレビ、ラジオでおなじみ、福島のお笑い芸人。軽快なトークで会場は笑いの渦に



太陽族

日常に寄り添うような音楽活動を続ける元気いっぱいのロックバンド



ave

福島市在住のシンガーソングライター。心温まるラブソング、福島ソングを歌う

3年に一度の文化祭なので、多くの皆さまのご来場を生徒・教員一同お待ちしております。

◎県立川口高校 ☎(54) 2154

文・写真 町民記者 小島 純さん(宮下)

収穫の秋、5年生が稲刈り作業 三島小の体験授業「田んぼの学校」



三島小5年生11人の児童たちは、秋晴れの9月28日、宮下の三島神社前にある三島小の田んぼで稲刈りを行いました。30坪ほどの田んぼで、もち米を栽培しました。これまで田植え、草取りなど稲作を体験。稲は順調に生育し、黄金色に実りました。児童たちは汗だくになりながら、かまを使って手刈りを行い、束にまとめる作業には慣れない手つきで悪戦苦闘。最後に線路沿いのフェンスにかけて天日干しにし、10月18日に予定している脱穀を楽しみに、無事作業を終えました。隣接する宮下活性化センター周辺を管理する「びおたんクラブ」のメンバーや地元の皆さんが協力しました。

文・写真 町民記者 角田伊一さん(川井)

大作「歳神炎昇」などを展示 若松市内で佐藤朋義絵画展



佐藤朋義さん(宮下)の絵画展は9月1日から5日まで、ギャラリー平安(会津若松市)で行われました。満月の夜空に燃え上がる「歳神炎昇」など、三島の民俗行事や風物を描いた心豊かなタッチの作品を多数展示。また俳句を持参した方には、佐藤さんが即席で色彩豊かな俳画を描きプレゼントしました。宮下の自宅ミニギャラリー「十点美術処」には作品を常時展示しています。

会津坂下警察署からのお知らせ

三島町での刑法犯 (8月)

2件

「悪質商法」の被害に
遭わないために

◆簡単に「もうかる話」などは
ありません

「元本保証」「高配当確実」など
とうその投資話をして、多額の出
資金をだまし取る事件が多発して
います。親しい人からの誘いであっ
ても、「絶対もうかる」という話に
は注意してください。

◆実際にこのような言葉にだま
されています

「被災した人を助けたいんです。
この株はすぐに上場するから絶対
に損はさせません。上場すれば何
倍にもなりますよ」

「1株が100株分の値段になりま
す。今のうちに早く買わないと売
り切れまずよ」

「こちらは東日本大震災補償セン
ターです。国から福島県民にお金
が支給されますので口座番号を教
えてください」

※うまい話を信用せず、一人で判
断しないで家族などに相談し、きつ
ぱりと断りましょう。

街頭犯罪発生状況 (1月～8月)

区分	管内	三島町
空き巣ねらい		
忍び込み	1	
事務所荒らし	1	
出店荒らし	1	
自動車盗		
オートバイ盗		
自転車盗	13	
自販機ねらい	2	
車上ねらい	3	
部品ねらい		
強制わいせつ	1	
街頭犯罪合計	22	0
全刑法犯	94	5

※全刑法犯には街頭犯罪以外(器物
損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺な
ど)の犯罪発生件数が含まれます。

地震が起きたら

▼
個人1分間行動

①まず身の安全を確保

頑丈な机の下などに身を隠し、落
下物から身を守る。

②すばやく火の始末

(揺れが強い場合はおさまってから)
使用中の火はすぐに消す。ガスコ
ンロの元栓を閉め、電気コンセント
を抜く。

③非常脱出口の確保

(揺れが強い場合はおさまってから)
避難するためのドア、窓を開ける。

▼
地震発生から1～2分
揺れがおさまったら

④火元を確認

火が出たら落ち着いて初期消火

⑤家族の安全確認

倒壊家屋の下敷きになっていないか

⑥靴を履く

室内にはガラスの破片が散乱

⑦津波が予想される地域の場合は
すぐに走って避難

▼
地震発生から2～3分
家族の無事を確認したら

⑧隣近所に声かけ

行方不明者、けが人などを確認し、
災害弱者の安全を確保する。

⑨出火防止

電気ブレーカーを落とし、ガスの
元栓が閉まっているか再度確認する。

▼
地震発生から3～5分
ラジオなどで正しい情報を

⑩正しい情報をつかむ。

⑪家屋倒壊などの危険があれば、非
常持ち出し用品を持って、歩いて
避難所へ

塀や電柱、土砂崩れが起きそうな
土手、火災が起きている場所などを
避けて避難する。

☎会津坂下消防署三島出張所

☎(52) 3032

10月の納税

納期限 10月31日

▶町県民税

(普通徴収) 第3期

▶後期高齢者医療保険料

(普通徴収) 第3期

忘れずにお納めください。

役場 町民課

障害者
就職面接会

就職希望の障害者の方を対象とし
た面接会を下記のとおり開催します。

◆日時 11月15日(※)

13:30～16:00

◆場所 会津アピオスペース
(会津若松市インター西90)

◆企業 25社(予定)

☎ハローワーク会津若松

☎0242(26)3333

ご寄附
ありがとうございました

町社会福祉協議会へ

ご遺志によるもの

五十嵐 孝 様(大石田)

浅沼 知枝子 様(早戸)

町の人口と世帯

9月1日現在

人口	1,915	-4	出生	1
男	917	+2	死亡	6
女	998	-6	転入	2
世帯	834	±0	転出	1

※住民基本台帳による数値です。

保健・子育て・健康づくり

☎町民課 ☎(48) 5565



schedule

● 4カ月児健診

10月16日(※) 11:15～ 坂下厚生総合病院

11月13日(※) 11:15～ 坂下厚生総合病院

● 3歳児健診

10月17日(※) 13:00～ 柳津町・銀山荘

● 4歳児発達健診

10月25日(※) 8:45～ 町民センター

《対象》平成19年4月～平成20年3月生まれ

● 乳幼児健診

11月22日(※) 13:10～ 町民センター

《対象》乳児、1歳6カ月児、2歳児

● 足腰げんき教室

▶室内運動編

10月10日(※) 13:30～ 町民センター

11月8日(※) 13:30～ 町民センター

▶水中運動編

10月30日(※) 13:00 町民センター集合
(河東学園プールへ送迎)

● 機能訓練会

10月24日(※) 14:00～ 福寿草

11月14日(※) 14:00～ 福寿草

● 心の健康相談(※事前申し込み必要)

10月22日(※) 13:30～ 福寿草

11月5日(※) 13:30～ 福寿草

《申込先》町民課 ☎(48) 5565

県立宮下病院から

外来看護師のつぶやき

兼子 香代子 看護師



すすきをわたる風や庭の虫の声も涼やかで、秋まっ
さかりです。

さて、奥会津のご年配の方が「家(うち)ほどいい
のは、江戸にもねえ」と言われます。我が家のよさは、
東京でも味わえない。家が一番という意味でしょう
か。一番ホッとできるのは、見慣れた風景、声、匂い、
音、自分の居場所が、住み慣れた家(自宅)なのだと
思います。

今年も町の年一回の健康診断を受け、その後、再検
査で多くの方が病院を受診されました。健康に気をつ
かわれている様子が、うかがわれました。でも、一方
では、「忙しい」「特に症状がない」「めんどろだ」と
健康診断を受けない方もいらっしゃいます。健康診断
は、健康な時にお受けください。また、具合が悪く、
お辛い時は、我慢せずに、お早めに病院にいらしてく
ださい。

いつまでも、お元気で、笑顔で、大好きな「お家」
で過ごせたら、幸いと思います。

なお当院では「訪問診療・訪問看護」も行っており
ます。自宅療養、介護などで困っていらっしゃるこ
とがあれば、お気軽にご相談ください。

Topics



稲刈り作業などで交流したツアー参加者と大谷地区の皆さん

稲刈りや野菜収穫で楽しく交流

田舎暮らし体験ツアー第2回

町観光協会主催の田舎暮らし体験ツアーの第2回目は、9
月29日から30日にかけて、五十嵐富一さんをはじめ大谷
地区の皆さんの協力で開催されました。今回は5月の第1
回目に植えた田んぼの稲刈りや、野菜の収穫体験を実施。
参加した皆さんは農山村の暮らしを肌で感じながら、参加者
同士や大谷地区の皆さんとの親睦を深めました。そして次回
のツアーでの再会を楽しみにしていました。



最後の受け渡し タブレット

JR全国唯一の運行方式が終了

JR只見線・会津宮下駅での最後のタブレット受け渡し。多くの鉄道ファンに囲まれて、駅員の星さんがタブレットのに入った革製カバンを差し出すと、運転士がしっかりと受け取った。衝突事故を防止する昔ながらの方式は、惜しまれながら鉄道の歴史に刻まれた



(右) 多くの鉄道ファンが詰めかけた会津宮下駅
(中) おそろいの制服で一日駅長となった三島保育所ほし組の子どもたち
(左) 子どもたちから運転士と駅員に、手作りのタブレットがプレゼントされた

運転士と駅員がホームでタブレットを受け渡し、会津宮下駅での見慣れた光景でした。

国内のJR在来線で唯一、只見線の会津坂下駅・会津川口駅間で行われていたタブレット閉塞による運行が9月22日を最後に終了し、自動閉塞に切り替わりました。最終日には詰めかけた多くの鉄道ファンに囲まれて、最後の受け渡しが行われました。

タブレット閉塞とは、タブレットを持つ列車のみに走行を許可し、正面衝突を回避する運行方式です。タブレットは大きな輪の付いた革製カバンに入れられ、出発駅で運転士に手渡されます。到着駅で駅員に手渡されるまで、別の列車はその区間に入らず、衝突が回避されます。只見線では会津坂下駅、会津宮下駅、会津川口駅の3駅で、タブレットの受け渡しが行われてきました。

最後の受け渡しの日、会津宮下駅にも多くの鉄道ファンが詰めかけました。



三島保育所ほし組の子どもたち8人が一日駅長となり、オレンジ色の記念列車を迎えました。最後の受け渡しをした駅員は今年度で退職するという星さん。カメラを持った大勢の鉄道ファンに囲まれながら運転席の窓に歩み寄り、いつもよりゆっくりとタブレットを差し出しました。運転士がしっかりと輪をつかむと、そのまま動きを止めるサービス。一斉にシャッター音が鳴り響きました。

町観光協会ではタブレットを描いた記念バッジを作り、来訪者に配布しました。

9月23日以降は特殊自動閉塞という方式が導入されています。タブレットは現在、津軽鉄道(青森県)など全国の一部の私鉄と、JR貨物の路線で見られないということです。

Information

これからの予定	
10月7日⑩	町民運動会 9:00~ 町民運動場
10月20日⑤・21日⑩	会津の編み組工芸品展 9:00~ 交流センター山びこ 東北六県伝統的工芸品展 9:00~ 交流センター山びこ ものづくり再光 9:00~ 生活工芸館
10月24日⑥	町民公開講座 医療講演会 15:00~ 町民センター
10月27日⑤	立志式 三島中
10月27日⑤・28日⑩	SL運行 JR只見線
10月28日⑩	消防団秋季検閲 町民運動場
11月3日⑨	町文化祭 9:00~ 町民センター 三島小まつり 9:00~ 三島小

食品の放射能測定結果 (抜粋)

品名	検査日	採取場所	放射性物質 (ベクレル/kg)		
			ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137
玄米	9月11日	高清水	不検出	不検出	不検出
	9月18日	滝谷	不検出	不検出	不検出
粟	9月7日	大登	不検出	不検出	不検出
にんじん	9月3日	川井	不検出	不検出	不検出
かぼちゃ	9月3日	大石田	不検出	不検出	不検出
つけうり	9月11日	検原	不検出	不検出	不検出
なめこ	9月10日	間方	不検出	ND	28
はつたけ	9月14日	間方	不検出	ND	27
三方茸	9月18日	間方	不検出	不検出	不検出
おおいちようたけ	9月18日	西方	不検出	ND	ND
栃の実	9月13日	間方	不検出	不検出	不検出

品名	検査日	採取場所	放射性物質 (ベクレル/kg)		
			ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137
土壌	9月10日	大谷	不検出	74	96
	9月10日	大谷	不検出	35	46

※ NDは検出下限値 (20ベクレル/kg) 以下を示します。

⑩役場 地域政策課 ☎ (48) 5533
放射能検査室 ☎ (52) 3511

献血が ともす愛の灯 いのちの灯

皆さんの善意が、尊い命を救います

献血の日程

10月30日④

9:30~11:00 桐寿苑前
12:30~17:00 町民センター前

《献血ができる方》

- 16歳から69歳までの方
※ 65歳以上の方は、60歳から64歳の間に献血の経験がある方に限ります。
- 体重 男性 45kg以上 女性 40kg以上
- 薬を服用中の方、妊娠中の方はご遠慮願います。

⑩役場 町民課 ☎ (48) 5565

地域ふれあいサロン

大石田友遊サロン

10月18日④ 社会見学 (いわき市)

川井友愛サロン

10月30日④ 9:00~ グラウンドゴルフ
(町民運動場)

⑩町社会福祉協議会 ☎ (52) 3344

編集後記

▶当町が加盟したNPO法人「日本で最も美しい村」連合。ドラマやCMでもおなじみの「丘のまち」北海道美瑛町や、高齢者の「葉っぱビジネス」で有名な徳島県上勝町など、輝くオンリーワンを追い求める、すてきな町ばかりが名を連ねます。その仲間となったことを誇りに思ってください▶「まていな」(心を込めた) 村づくりを進めてきた飯館村も加盟町村の一つ。原発事故で全村避難が続いています。そして今回の臨時総会の開催地、宮崎県高原町も新燃岳の噴火で大変な被害を受けました。大きな困難の中でも「美しい村」を取り戻そうと必死です。できることは少なくとも、仲間として寄り添う心を持ちましょう。

3週連続 錦秋 ウォーク



10/21(日)

伝説の霊峰志津倉山で、巨木の森に出会う かしゃ猫ロードトレッキング

主催/美女帰の里まがた(三島町間方地区住民) 共催/三島町観光協会

申込 電話でお申し込みください。◆三島町観光協会 ☎ 0241 (48) 5000 締切 10月12日 ※荒天中止

集合 JR只見線 会津宮下駅前 ※バスで志津倉山登山口へ送迎します。

参加費 1,000円【温泉入湯料込み】 定員 50人 コース 約2km

行程 9:30 会津宮下駅前発 — (送迎バス) — 10:00 登山口着・開会式・安全祈願 — 10:30 トレッキング開始 (案内人同行)
— トレッキング終了 — (送迎バス) — 12:30 昼食・交流会 (間方集会所にて地元の手作り昼食をご用意します)
— (送迎バス) — 14:30 温泉入浴 (宮下温泉ふるさと荘または桐の里倶楽部) — 15:30 解散 (会津宮下駅前)

ご準備/トレッキングに適した服装・シューズ、飲み物、雨具、着替え、入浴の準備等

(参考) JR只見線発着時刻【下り】会津若松駅 7:37 発—会津宮下駅 9:12 着 【上り】会津宮下駅 15:55 発—会津若松駅 17:18 着



10/28(日)

巡見使が歩いた歴史街道を行く 美女峠ウォーキング

主催/県道小林会津宮下停車場線「美女峠」改良促進期成同盟会

申込 電話でお申し込みください。◆三島町役場 産業建設課 ☎ 0241 (48) 5566 締切 10月22日 ※荒天中止

集合 三島町役場前 ※バスで送迎します。 コース 約7km

参加費 1,000円 (保険、昼食代) ※昼食は昭和村秋味まつりの「そば引換券」をお渡しします。

行程 9:30 三島町役場前発 — (送迎バス) — 9:45 美女峠入口 (三島町間方) からウォーキング開始 —
— 美女峠山頂 (休憩) — 11:45 昭和村野尻 — (送迎バス) — 12:00 昭和村秋味まつり会場 (昼食)
— 14:00 出発 — (送迎バス) — 15:00 三島町役場着、解散

ご準備/トレッキングに適した服装・シューズ、飲み物、雨具、着替え等



11/4(日)

道祖神を巡り、錦秋の只見川溪谷を望む 神々の道と霧幻峡ウォーキング

主催/あいづ歩こう会 共催/早戸地区・雨沼地区・早戸温泉つるの湯企業組合

申込 電話でお申し込みください。◆早戸温泉つるの湯 ☎ 0241 (52) 3324 締切 10月27日 雨天決行

集合 早戸温泉つるの湯前 9:00 受付開始 9:30 開会式 定員 200人

参加費 500円 (つるの湯入湯、きのご汁付き) コース 約8km (アップダウンのある絶景コース)

行程 10:00 早戸温泉つるの湯前出発 — 神々の道遊歩道 (夜泣き地蔵—虫供養塔—愛宕様など) — 雨沼地区へ —
— 霧幻峡子安観音—霧幻地蔵—古民家 (休憩) — 大山祇神社—一立の上展望台 — 雨沼地区 — 早戸温泉つるの湯前

ご準備/トレッキングに適した服装・シューズ、昼食、飲み物、保険証、雨具等